

えがお大東っ子 第44号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/>

小中連携教育の推進 ～小中の円滑な接続をめざす取り組み～

大東市では、大東市教育ビジョン後期基本計画のもと、確かな学力の育成をめざすため、小・中学校が情報を共有するとともに授業方法の工夫改善等、全中学校区が研究テーマを決めて取り組んでいる小中連携教育の推進について報告します。

【各中学校区の研究テーマ】

- 道徳教育の充実に向けた授業改善の取り組み ～住道・谷川中学校区～
- 特別支援教育の視点を取り入れた授業方法改善の取り組み ～深野中学校区～
- 生活規律・学習規律の確立をめざした生徒指導の充実及び学習環境整備の取り組み ～南郷・諸福中学校区～
- 小中一貫教育校『アクセスプラン：6年生の中学校登校』の取り組み ～四条・北条中学校区～
- 班活動等を活用した『集団づくり』の取り組み ～大東中学校区～



小6の中学校での給食のようす

住道・谷川中学校区では、道徳の教科化による指導と評価について交流し、研究を推進しています。深野中学校区では、すべての子どもたちにとって分かりやすい授業をめざし、共通の視点で話し合っています。南郷・諸福中学校区では、生活規律・学習規律の確立をめざし、指導方法について小中で交流しています。四条・北条中学校区では、6年生の中学校登校を実施し、6年生の不安解消や意欲の向上をめざし、アクセスプランに取り組んでいます。大東中学校区では、仲間づくりを大切にする子どもの育成をめざし、小中で一貫した集団づくりの研究を推進しています。

各中学校区での小中合同研修会や小中合同研究討議会等は、それぞれの研究テーマについて校区の教員が小中のつながりを意識する場となり、小中連携の意識が高まっています。

第38回大東市立小学校連合音楽会 一大東市小学校教育研究会主催

大東市民文化祭の一環として、平成30年11月28日（水）、サーティホールにおいて大東市立小学校連合音楽会が開かれました。各校の代表として出場した児童が、それぞれ合唱や合奏など練習の成果を発表しました。迫力のあるテンポよい合奏と心と声を合わせた美しいハーモニーがホールいっぱいに響き渡りました。鑑賞者に感動を与える素晴らしい音楽会になりました。



情報モラル教育について

携帯電話やスマートフォン等の所持は、低年齢化の傾向がありますが、使い方によっては重大なトラブルや依存症の危険性があります。大東市の小・中学校では、子どもたちにとって年齢の近い大学生を講師として迎えて、子どもたちと一緒に携帯電話やスマートフォンの安全な使い方を考える「情報モラル学習教室」の実施や、講演会や子どもどうしでのルールづくりなど学校独自の取り組みを行い、その危険性について学んでいます。



ご家庭でも使い方のルールを決め、次のようなことを意識することが大切です。

- 保護者が率先してルールを守り、お手本になりましょう。
(例として、「夜9時までの利用」、「食事の時は使わない」など)
- お子様の成長に合わせて、ルールやフィルタリングの設定を見直しましょう。
- 家庭内のコミュニケーションがまず基本です。日頃の会話を大切にしましょう。
お子様がどのようなサイトを利用し、外部の人とどのようなつながりをもっているのかなどについて話し合えるようにし、危険を回避できるようにしましょう。

この機会に、携帯電話やスマートフォン等の使い方について、お子様と話し合ってみてはいかがでしょうか。



地域ファミリースポーツ佳道ブロック大会

この大会は、誰でも気軽にスポーツを楽しめるように、簡単なニュースポーツを取り入れて、大東市スポーツ推進委員が開催しています。

今回の種目のキンボールは、ピンク・グレー・ブラックの3チームがコート内で、直径122cmの巨大ボールを使い、サーブやレシーブを繰り返しながら、得点を競います。

また、ボール de ビンゴは、本市スポーツ推進委員が考案したニュースポーツで、6m先のビンゴ盤の9つの穴をめがけて、ボールを転がし、縦・横・斜めのビンゴの数を競います。

いずれも1チーム4人でゲームを行いますが、1人からでも参加できます。運動が苦手だと感じておられる方も、気兼ねなく、スポーツを楽しんでみませんか。ご家族揃ってのご参加をお待ちしております。

- 日時：平成31年2月17日(日) 午前9時30分から開始
- 場所：大東市立住道南小学校体育館
- 種目：キンボール、ボール de ビンゴ
- 持ち物：体育館シューズ ※水分補給は各自でお願いします。
- 参加費：無料 (担当課：スポーツ振興課)

「子ども安全見守り隊」活動について

現在、12小学校区内、246箇所で開催登録人数は約4,000人、1日当たり約580人の方が、児童の登下校の安全見守り活動に参加されています。自治会、PTA、青少年指導員、防犯委員、老人会、こども会等地域の方々が、ボランティアで、雨の日も暑い日も寒い日も毎日、通学路や交差点などに立って、子どもたちに笑顔で「おはよう」「お帰り」等声かけをして、見守ってられます。

各小学校では、四條畷警察署員の方による見守り活動の在り方研修や、見守り隊・警察・学校・教育委員会生涯学習課との情報交換会を開催し、見守り活動の充実に努めています。

見守り隊の活動は、子どもたちに安心感を与えるだけでなく、地域の犯罪抑止にもつながっています。



三箇小学校



四条小学校



四条北小学校

地域ファミリースポーツ中央大会

この大会は、誰もが気軽にスポーツを楽しめるように、ルールが簡単なニュースポーツを取り入れ、大東市スポーツ推進委員が開催しています。

種目は、毎年実施しておなじみのカローリングとキンボールに加え、スポーツ推進委員が考案した「ボール de ビンゴ」を行います。

いずれも1チーム4人で行いますが、1人でも参加できます。日頃、運動が苦手だと感じている方、この機会に一度参加してみたいかでしょうか？ご家族揃っての、また、友人どうしお誘いあってのご参加をお待ちいたします。

- ・日時：平成31年3月3日（日） 午前9時30分から開始
- ・場所：大東市立市民体育館
- ・種目：カローリング、キンボール、ボール de ビンゴ
- ・持ち物：体育館シューズ ※水分補給は各自でお願いします。
- ・参加費：無料 (担当課：スポーツ振興課)



「人権教育カリキュラムづくりワーキンググループ」で指導案作成に取り組んでいます

大東市では、「人権教育カリキュラムづくりワーキンググループ」という取り組みを通して、人権課題の解決に向けた授業づくりを、教職員の協働により進めています。毎年、さまざまなテーマで取り組んでおり、平成30年度のテーマは「部落問題学習～テーマ別カリキュラムづくり～」です。

各校での授業を通して、子どもたちは、教材や身のまわりのことから深く考え、積極的に意見を交換して学びを深めました。

決めつけや偏見で判断するのではなく真実を知ることの大切さや、偏見や差別を生む社会のしくみに気づくことが大切なのだ、教職員自身も学びました。

今後も、部落問題をはじめ、あらゆる人権課題についての意識を高めるため、人権教育を一層進める必要があります。多様な人との出会いとお互いを尊重し合える人間関係づくりを通して、子どもたちの課題解決の力を育てていきたいと思えます。

すべては大東市の子どもたちの「できた!」「わかった!」の笑顔のために

先生たちもがんばっています!



今年度、大東市教育研究所では、「大東教員スキルアップ講座」という教員向けの研修会を、年間30回実施しています。この研修は、年度のはじめに配付された「シラバス」により、教員が学びたいテーマを選んで主体的に参加するものです。各回のファシリテーターは、大東市の小・中学校の校長先生として勤めてくださっていた5名の先生方が、交代で担当して下さっています。

各回テーマに沿って、幼稚園・小・中学校の校種を超えて教員どうしで交流し、意見や情報を交換したり、ファシリテーターから、教員として大切にしたい不易の部分や今の時代に合わせた最先端の教育の動向をふまえたお話、例えば、「教育とは何か」「信頼される教員とは」「子どもたちが主体的に学ぶ、今求められる授業とは」等について伺ったりし、長年教育と向き合ってきた揺るぎない情熱と確かな見識に、多くの教員が刺激や学びを得ています。

一方、各校でも新学習指導要領全面实施を見据えて、授業改善公開研究会や教員どうしの授業交

流等を行い、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざして、学校全体で「学び合う」授業づくりの研究を進めています。

研修の内容を、市内全教員で共有するため、スキルアップ講座通信・「学び合う」授業研究NEWSを発行しています。

